

《知》意欲的に学び、課題に粘り強く取り組む児童
《徳》社会のルール・学校のきまりを守り、
礼儀正しく思いやりのある児童
《体》心身ともに健康で、命を大切にす児童

せんだん

珠洲市立上戸小学校
学校だより 第716号
令和6年11月25日

人権週間にかかわって

上戸小学校長 山岸 修

昭和23年(1948年)12月10日、国際連合第3回総会において、全ての人民と全ての国とが達成すべき共通の基準として、「世界人権宣言」が採択され、採択日である12月10日は、「人権デー(Human Rights Day)」と定められました。法務省の人権擁護機関では、人権デーを最終日とする1週間(12月4日から12月10日)を「人権週間」と定め、昭和24年(1949年)から毎年、各関係機関及び団体とも協力して、全国的に人権啓発活動を特に強化して行っています。(法務省のHPより引用)

私が若い時、人権について子どもたちに説明するときは苦労しました。「人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらに持っている権利」などと、どこかに書いてあるのを写してその紙を見ながら、しどろもどろになって説明したものでした。その度に、何か通じないな、小学生には言葉が難しいな、もっとシンプルに簡単に言えないものかと思っていました。最近では以下のように言うことが多いです。

「人権とは、人として大事にされること(大事にされなければならないこと)です。世の中にはいろんな人がいますが、全ての人が人として大事にされなければなりません。」

その後、人権作文を読み聞かせすることもあります。人権作文とは「全国中学生人権作文コンテスト」の作文です。昨年度は、全国から約76万人の応募がありました。各県の予選を通過してさらにその中から「内閣総理大臣賞」や「法務大臣賞」などを決めます。したがって、全国上位入賞の人権作文は読む人の心に響くとても力のある作文ばかりです。人権の大切さをくどくど説明するよりも、人権作文を読み聞かせる方がずっと児童の心に届くと考えています。

上戸小学校の児童にも以上のように人権について話していきたいと考えています。

人権週間に関わって、上戸小学校の「いじめ防止の取り組み」について紹介いたします。

上戸小学校のいじめ防止の取り組みは「学校いじめ防止基本方針」として定めています。学校のHPにも載っています。ご覧になってください。

いじめ防止については、毎年必ず年度当初に全校集

会で話をしています。

「いじめはしてはいけません。許しません。なぜなら、命に関わるからです。今、だれかをいじめているという人はいますか。いたらすぐに止めてください。今、だれかにいじめられているという人はいますか。いたらすぐに先生に話してください。担任の先生でなくてもいいです、どの先生でもかまいません。それは、先生に言いつけるということではありません。先生に話すのは相談です。先生も体の具合が悪い時はお医者さんに相談します。それと同じです。もし、いじめがあったら学校の先生全員でいじめをやめさせます。文科省の報告によると言葉によるいじめが多いそうです。何気ない言葉で人を傷つけることがあります。気を付けましょう。いじめのない学校にしましょう。」

本校の主ないじめ防止の取り組みは以下です。

アンケート(毎月実施。気になる回答があれば、すぐに、事情を聞いて対処しています。)

児童理解の会(毎月実施。児童の気になる行動について、全職員で共通理解しています。)

校内研修会(年2回実施。いじめ対応アドバイザーを招いて、いじめ対応の研修会をします。)

以上のことだけでなく、ふだんの児童の様子を見ていて、友達をからかうような発言や差別的な言動があれば、すぐに指導をするようにしています。

このようにしていても、いじめと認知して解決に向けて学校全体で取り組むこともあります。いじめはよくないことです。しかし、成長過程の子どもたちが集まって生活していれば、行き違いやトラブルが生じることはあります。それが自然だと思えます。学校では、それらに丁寧に対応したいと思っています。その都度の振り返りや反省を通して、乗り越えさせることが児童の成長につながると考えています。

ご家庭や地域の方にお願ひしたいのは「弱い者いじめをしてはいけない」と子どもたちに話していただきたいです。学校だけでなく家庭や地域でも、いじめをしてはいけないという話を聞かされるのが、最も効果的ないじめ防止につながると思うからです。

音楽の集い 10月30日



ラポルトすずで「珠洲市小学校音楽の集い」が開催されました。練習を積み重ねてきた成果を十分に発揮して、すばらしい演奏ができました。珠洲市の小学生全員で歌った「ビリーブ」は、聞いていた人々の心に響きました。招待演奏では、リズムに乗って手拍子をうつ場面もあり、全員楽しく聴くことができました。

学校公開（授業参観・非行被害防止講座） 11月1日～7日



学校公開期間中には、たくさんの方に参観していただきました。1日の授業参観では、全学級で道徳の授業を行い、保護者の方にも参加してもらいながら考え合いました。また、奥能登教育事務所より和嶋 陽一指導主事を招聘し、3年生以上の児童と保護者を対象に非行被害防止講座も行い、インターネットに潜む危険性や家庭でのルール作りについて学びました。講座の終わりに、参加した児童全員が今後気を付けたいことを発表しました。

寄せ植えプロジェクト2 11月7日

カインズ様提供のもと、2回目となる寄せ植えプロジェクトを行いました。7月5日に「寄せ苗」を行い、とてもきれいに咲いていたのですが、9月の豪雨ですべて流されてしまいました。それを耳にしたカインズ様が再び「寄せ植え」を提供してくださいました。「寄せ植え」を通して、再び仮設住宅の方と交流を深めることができました。



プログラミング学習出前授業 11月19日



金沢星稜大学の清水 和久教授と学生を講師に招いてプログラミング学習出前授業を行いました。1年生から6年生が学年の発達段階に応じてロボットへ動作をプログラミングする体験やAR（拡張現実）体験、ドローン操作体験などを行いました。活動を通して、児童は課題にぶつかりながら、友だちと協働して解決していました。充実した学習となりました。

お礼 上戸小学校同窓生 34双葉会様より
22,913円の寄付をいただきました。
ありがとうございました。

「海と人と生き物と」コンクール
優良賞 3年 鷲 初叶
珠洲市児童生徒絵画作品交流会
優良賞 1年 一宮 美月 4年 吾郷 梨愛奈
ファイダー寄贈マイクロバスデザイン・コンテスト
入選 5年 福田 彩蓮 5年 三上 逢海

石川県児童生徒俳句大会
[佳作]
ばすけつと ぼうるがあせで にげていく 1年 吉森 晴
ばちゃばちゃと おとがたのしい みずあそび 1年 一宮 美月
[入選]
ツバメの子 ピョピョないて えさをまつ 2年 三上 咲良
夏ぼうし 出かける時は わすれずに 2年 柚 みつめ
サイダーを 一口のんで ハアと言う 4年 紺谷 洸斗

12月 行事予定	
2日(月)	・代休日
3日(火)	・全校朝会
4日(水)	・SDGS 合同学習会
5日(木)	・なわとび集会
8日(金)	・心の授業(5・6年生)川原 SC
10日(火)	・集金日 ・児童朝会
11日(水)	・クラブ
12日(木)	・SDGS 合同学習会
17日(火)	・珠洲の未来を考えるワークショップ
18日(水)	・児童総会
23日(月)	・学習ルールチェック
24日(火)	・2学期終業式 ・通知表渡し

1年生

干し柿づくり

わたしは、ろう生かいの人とほしがきづくりをしました。はじめてつくったけれど、じょうずにできました。らいねんもじょうずにしたいとおもいました。ろう生かいの人がピーラーのつかいかたをおしえてくれました。ひもをかきにつけるのがむずかしかったけど、できてうれしかったです。

(一宮 美月)

ぼくは、ろう生かいの人といっしょにほしがきをつくりました。ピーラーでかわむきとかをしたり、おゆにつけたりしました。かきを20こむけたので、うれしかったです。

(加藤 優宗)

ぼくは、ほしがきづくりをしてピーラーをつかいました。ろう生かいの人とおゆにつけました。らいねんもほしがきづくりを試みたいです。また、ならいたいです。

(中野 秀有司)

ぼくは、きょう、ほしがきづくりをしました。かきをもってかわをむきました。ろう生かいの人がてつだってくれました。たくさんできました。たのしかったです。また、らいねんやりたいです。

(吉森 晴)



2年生

秋と言えば?

秋といえば、かきだと思います。わけは、秋の色といえば、だいたいオレンジ色だと思うからからです。かきは、オレンジ色だから秋にぴったりだなと思いました。わたしは、かきがすきです。はやく食べたいなと思います。

(吾郷 友梨奈)

秋といえば、読書の秋だと思います。わけは、しずかに本を読めるし、すずしかったら、しゅう中して本を読めるからです。この秋に本を17さつ見てみたいです。おちばや食べものの本など、いろいろ読んでみたいです。

(角 珠々葉)

秋といえば、食よくの秋だと思います。わけは、さつまいもを、やきいもにしたりできるからです。さいきは、やきいもを食べてないから、こんど、やきいもを作って食べたいです。

(三上 咲良)

秋といえば、もみじだと思います。わけは、秋ってオレンジや赤や黄色のイメージで、もみじがその色だからです。ほかに、いろいろな色のものがありそうなので、さがしてみたいです。

(角野 晴隆)

秋といえば、食よくの秋だと思います。わけは、かぼちゃとか、くり、やきいもがおいしいからです。やきいもは、ほくほくしていておいしいし、くりは、少しかたくておいしいからです。秋のあじを楽しみたいです。

(柚 みつめ)



3・4年生

道徳授業のふりかえりより

わたしは、祭がとても昔からあるなんて知りませんでした。そんな昔からあるのだとおどろきました。初鳥さんのお話を聞いて勉強になりました。(川端 純怜)

わたしは祭が1000年前からあることにびっくりしました。家に帰って家族に話しました。わたしはもっと祭のことを知りたくなりました。(鷺 初叶)

道徳のじゅぎょうの後、お父さんと話していると「そのまま祭、続けていこうな!」とお父さんは言いました。ぼくは大人になったら龍神太鼓をたたいてみたいです。(三上 寛太)

初鳥さんの話から、ぼくは上戸町には自まんでできるところがいっぱいあることがわかりました。また、たくさん見つけたいです。(寺下 蓮輝)

初鳥さんの話を聞いて、上戸町は自まんでできる町なんだと思いました。上戸の祭は1000年以上前からあったとわかりました。(中野 煌有司)

初鳥さんの話を聞いて龍神太鼓やきゃらげは1000年以上前からあるのだと初めて知りました。ぼくも龍神太鼓をたたいて、いつか地いきの人たちに見てもらいたいです。(吉森 心)

わたしは、上戸町が自まんでできる場所なんて思ってもいなかったのだとおどろきました。初鳥さんのように太鼓はたたけないけど、他のことで初鳥さんみたいにみんなを笑顔にさせたいです。(吾郷 梨愛奈)

初鳥さんに聞いた話を家の人にたくさん教えてあげました。家の人にも「上戸町のことを自まんしてみようかな。」と言ってくれたのでよかったなと思いました。(紺谷 洗斗)

5・6年生

秋と言えば?

わたしは秋と言えば、読書だと思います。わけは、読書の秋とよく言われているからです。今年の秋は、家にある小説を5冊読みました。これからもたくさん読んでいきたいです。(加須屋 依里)

秋らしいと思うものはさつまいもです。理由は秋にみんなで焼きいもを食べるからです。私はいつも1度に2つくらい食べています。甘くてホクホクでおいしいです。(三上 逢海)

秋と言えばさつまいもだと思います。理由は何の料理にしてもおいしいからです。その中でも、大学芋がおすすめです。とても甘いからです。実はさつまいもは40から60ほど種類があるそうです。(福田 彩蓮)

秋と言えばスポーツです。理由はすずしいので、長い時間できるからです。私はテニスをしていて、11月は私にとって大きな試合があります。目標は2勝することです。(谷内口 優月)

ぼくは秋と言えば落ち葉と暖房です。落ち葉は秋によく見られるからです。暖房は、だんだん寒くなって、必要になるからです。秋と言えばこの2つがすぐに思いつきました。(家根 大翔)

ぼくは、秋と言えば、もみじといちょうです。理由は、学校の帰り道、何百枚ものもみじをふんで帰るからです。また、秋になると、学校で大きないちょうを探しているからです。この2つは、ぼくの秋の楽しみです。(徳力 海来)